



会長 石橋 信雄 青少年奉仕 小井田和哉  
副会長 正部家光彦 幹事 中村 稔彦  
クラブ奉仕 正部家光彦 会計 山村 和芳  
会長エレクト 正部家光彦 会場監督 築館 智大  
職業奉仕 道尻 誠助 直前会長 橋本八右衛門  
社会奉仕 深澤 隆 副幹事 増田 敏  
国際奉仕 紺野 広 会計補佐 松本 剛典

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル  
事務所 八戸市番町14 八戸グランドホテル内  
電話 (43) 0608 FAX (43) 0661  
e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp  
http://hachinohe-rotary.org/  
会報・公共イメージ向上委員長 渡辺 孝 同副委員長 峯 正一  
同委員 宮下 悟 同委員 松林 拓司

### 国際ロータリー会長メッセージ — 2025~26 — 八戸ロータリークラブ スローガン

よいことのために手を取りあおう

感謝し、祝い、新たな一歩となる道標へ

国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツォ

八戸ロータリークラブ会長 石橋 信雄

## 1 月 は 職 業 奉 仕 月 間 で す

第3383回例会 2026.1.21

### 会長要件 石橋 信雄 会長



寒い日が続いております。今シーズン最強、最長の寒波が到来しているとのことで、寒いだけではなく25日の日曜日まで長く寒気が居座るという予報です。わたしも車を運転していましたら、ここ2日で事故に2件ほど遭遇しました。お車での移動もこれから大変だなと思っています。お身体をご自愛くださいますと共に、お足許やお車の運転にどうぞお気をつけただければと思っています。

友好クラブの横手ロータリークラブ様より青森県東方沖地震に対しましてお見舞金を頂戴しました。本当にありがたいことだなと感謝申し上げます。横手ロータリークラブの伊藤秀樹会長にもお礼をさせていただきました。能代ロータリークラブから頂戴しましたお見舞金も含めて、クラブとしてどう活用させていただくのかを本日の理事役員会で検討したいと考えています。また、どのような場面になるかわかりませんが、友好クラブの能代ロータリークラブさん、横手ロータリーク

ラブさんから今回頂戴しました御恩に対して、何とかお返ししたいものだと考えています。

本日のプログラムは職業奉仕担当例会です。道尻委員長の下いろいろ企画されています。松林さんの基調講演、佐藤さん、鶴飼さんから職業奉仕実践発表の内容です。たいへん楽しみにしておりますので、本日はよろしくお願いたします。

先週の新年例会でロータリーソングの起源について少し触れさせていただきました。ロータリーとロータリーソングは切っても切れない、そういう間柄だということをお伝えさせていただきました。日本のロータリーソングで代表的なものは「奉仕の理想」「我らの生業」「手に手つないで」「それでこそロータリー」です。他の地区では四つのテストに曲を付けたものを歌っているクラブもあるようです。また、基隆扶輪社が来られたときにわれわれも歌いましたが、「R-O-T-A-R-Y」は世界的に歌われているロータリーソングです。

「奉仕の理想」と「我らの生業」につきましては、戦前の1935年に作られたもので、「手に手つないで」は1952年、「それでこそ

ロータリー」は1953年に作られたものです。「奉仕の理想」に関しましては戦前ということもありまして、その当時の影響により一部歌詞を変更している部分があります。「手に手つないで」、「それでこそロータリー」は東京ロータリークラブの矢野一郎さんが作詞作曲されたものです。1971年に発行されたロータリーの友7月号で矢野一郎さんが投稿されていますが、もっとロータリーソングは明るい曲調のものがあるのではないかとというお話、その後に関してはロータリーソングは古いんじゃないかなどいろいろ議論されている様子が出ています。ぜひ「ロータリーの友」アーカイブをご覧ください、その当時の様子をご覧くださいだければと思います。

矢野一郎さんの投稿内容には2、30年後には新しいロータリーソングになっているのではというお話でしたが、変わらずこの4つの歌を中心にロータリーでは歌われています。その中で矢野一郎さんは一緒に歌うようになれば親しくなるということが最も大事だ。このロータリーソングをみんなで歌うことによって、同じ歌を歌うことで親しくなるということが語られています。

ロータリーソングに関しては一緒に歌い、親しくなるということが最も大事だということを変更して確認した次第です。皆さんもぜひロータリーソングについて歌詞を読み返し、今一度考えていただければと思います。

表彰：

- 第2回米山功労者 夏堀礼二さん
- 第3回米山功労者 橋本八右衛門さん

## 幹事報告 中村 稔彦 幹事



○かるた大会お手伝い締切  
1/21(水)  
参加児童が28名になりました。工大二高の和田先生にもご尽力いただいています。来週の例会では和田先生から百人一首についての講話をいただく予定です。

○映画「じよっぱり－看護の人 花田ミキ」の無料上映会が今年もあります。2/22にむつで開催されます。これから事務局よりご案内を差し上げます。

会員のお祝い

- 会員誕生日 佐々木泰宏さん
- パートナー誕生日  
長沼弘次・工藤義隆さん
- 結婚記念日：小石川朋弘さん

## 委員会報告

親睦・会場委員会 木村浩之委員



○ニコニコボックスの報告  
• 誕生祝：加藤範尚さん  
• 奥様誕生祝：寺下一之さん  
石橋信雄さん

先週白内障の手術をしました。赤眼で見苦しいですが、すっきり見えます。

橋本八右衛門さん 1月下旬、2月上旬、新酒ラッシュです。ぜひ直売所お立ち寄り下さいませ。

小田山紀暢さん 道尻委員長、卓話楽しみです。

山村和芳さん ニコニコデー

職業奉仕担当例会

### 「さらなる職業奉仕実践に向けて」

道尻誠助委員長



奉仕の理想に集いし八戸ロータリークラブの皆さん、お元気ですか？

今月は職業奉仕月間で、世界のロータリアンが同じことを考える月です。今回は「更なる職業奉仕実践に向けて」と題して3人の方にお話と実践報告をお願いしました。ひじょうに喜んで引き受けてくださり、皆さんの目が覚めるようなお話をされると思いますので、聞いていただければと思います。

## (I)基調講演「職業奉仕について」

松林拓司職業奉仕副委員長

今期は道尻委員長、松林、吉田誠夫さん、竹石雄さんのメンバーで活動しています。1月は職業奉仕月間ということで、皆さんに取りましてはおさらいな内容になると思いますがお付き合いください。

五大奉仕部門があり、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の5つの中でも職業奉仕はロータリアンが自らの職業を通じて人々に奉仕し、高い道德水準を実践することを奨励します。この職業奉仕がロータリーの核心であるという説明をしている方も多いようです。

「ロータリー章典」の中に職業奉仕に関する声明がありました。2019年10月理事会会合で決定。

職業奉仕とは、あらゆる職業に携わる中で、奉仕の理想の実践をロータリーが培い、支援する方法である。

「ロータリーの目的」第2項は職業奉仕の基礎として、具体的には、以下を奨励し、育む。  
・職業上の高い倫理基準  
・役立つ仕事はすべて価値あるものとの認識  
・社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする

行動するときの行動指針は四つのテスト。この問いを自らにあるいはクラブとして問いかけることによって、自分がこれに沿っているかどうかを確かめながら前に進んでいけばいいのではないかとというのが職業奉仕の骨子だろうと思います。

これを説明するとき委員長から資料を渡されひたすら読みましたが、理念的、哲学的



でどうしたら分かり易く伝えられるか考え込んでしまいました。ある資料には職業奉仕はたくさんの木が集まってできている森だと説明している人もいました。つまりそれぞれの職業を持っているロータリアンを“木”に例えて、いろいろな職業人が集まって豊かな森になれるというイメージと書かれていました。が、なるほどと思う反面、例えば、自然の森では背の高い木と低い木があると、背の低い木は淘汰されてしまったりとか、自然はなかなか厳しいところがあると思うので、それはどうなのかとわたしなどは腑に落ちないところもありました。

そうこう考えているうちに、去年の例会はどうだったのだろうと思い当たり、振り返ってみました。去年の職業奉仕委員会の担当は村井達さんでした。「何だかわかるような、分からないような、難しいのが職業奉仕です。」しかしながら、村井さんはマックスウェーバーの名著『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』を引き合いに出されて解説されていました。わたしは大学時代に読んだという記憶だけで、何となく懐かしく思ったわけですが、中身に関しては理解に追いつかないようなありさまでした。

特に心に残ったのは熊谷清一さんのお話でした。弁護士という立場での職業奉仕観。先生のことばとして「美しき灰色を探す」という言葉がありましたので、皆さんも覚えていらっしゃると思います。これはひじょうに美しいことばです。中身とすれば、裁判の確率は白か黒か。0か100か。判決を解決する方法は争いの当事者の一方に大きなものを残す。熊谷弁護士はお互いの納得できる解決策がないか常に模索している。すなわち白と黒の間に無限の灰色がある。お互いが譲り合って納得できる落としどころを模索すべきである。そこが「美しき灰色」である。すばらしい職業奉仕観であると思います。他にも他の会員の方からもすばらしい言葉がたくさんありました。さすが八戸ロータリークラブです。

石橋会長就任後の会員卓話を振り返ってみました。島守ダクトの島守英樹さんの趣味の

バイクツーリングの話と本業の管工事の話。明治安田生命の佐藤恒寛さんは道尻さんから託された温故知新に寄り添って、周年事業と記念事業を訪ね歩いての振り返りの話をされました。八戸リネンサプライの石橋堅大さんはクリーニング業界の話、家庭クリーニングだけでなく医療業界、ホテル業界との仕事の話をされました。マエバラの前原俊彦さんは金・ゴールドの話をされました。9月末に1グラム20,000円を超えて、取材させていたしましたが、10月の卓話の時には1グラム25,000円、本日は1グラム25,800円。ものすごく金は上がっていました。そういうことにも注意がいくのはすばらしいと思います。

朝日放送の浜谷英幸さんは県内のテレビ業界を震撼させたハラスメントに対する同社の対応についての話、日本生命の高木康弘さんの金融動向についての話はひじょうにわかりやすく説得力のある解説でした。ぜひとも衆院選後にアメリカの情勢など踏まえて、どんな動きをするのか解説を聞きたいと思いました。またユアテックの梅本修司さんは地元出身ならではの八戸の町のあるある的なお話でした。

今後も職業奉仕の観点からも卓話を楽しみにしたいと思います。

## (II) 職業奉仕実践発表

### (1) 職業奉仕を通じて学んだこと

#### 佐藤恒寛会員



当社でやっている取り組みについてお話しさせていただきます。

わたしも職業奉仕というのは一体どういうものなのだろうかと考えて、いろいろ調べたところ、ロータリーの理念に従って事業を行う、社会の問題やニーズに応えていくことが含まれるとありましたので、当社がどんなふうに関社会に貢献していけばいいかなと考えて苦しんでいるところもありますが、一部、取り組んでいる内容をご紹介しますいただければと思います。

当社は保険会社で、基本的には保険金をお

支払いすることを第一にしていますが、できればその保険金をお支払いせずに皆さんの健康と一緒に育てていければという健活プロジェクトと東京本社の会社ではありますが、地元の皆様の保険をお預かりしていることもありますので、何とか事業所のある地元を元気にしていけないか、ということで、スポーツや再助成などで元気にできればと考えているところです。

道尻さんからこのお話をいただいたときに、タオルをあげたよねとおっしゃっていただきました。なぜタオルをあげたかといいますと、当社の新荒町ビルの天井の壁がちょっと崩れてしまった、棚が倒れてしまったという被害がありました。飲食店さんを中心に恐らく相当の被害があったのだらうということで、タオルを八戸市をはじめとして各市町村にお渡ししました。これがたまたまデーリー東北さん、東奥日報さんに掲載いただいたのが道尻さんの目に留まったのかなと思っています。

地元への貢献としては他にもわたし共の従業員、営業職員を含めて、八戸出身者、青森に赴任したことのある者が全国におりますので、地元の応援募金にということで1口300円で八戸市をはじめとして八戸圏域の市町村に募金しています。八戸市では今年度は300万円程度の募金をしましたし、昨年度は乳がんを罹患した方のウィッグの補助やケアに使っていただきました。今年度ははっちのモニターを買い替えたいということで、はっちのモニター補助とフリーブレイズのお子さんの招待枠に使いたいということでしたので、今週土曜日に親子招待枠に使われます。催事への協賛ボランティアということで三社大祭の助成金、当社三日町ビルの2階はちょうどお祭りの山車が通りますので給水ボランティアをしたり、助成金をお渡ししました。

他にJリーグの応援ということで、スポーツを通じて皆さんに元気を、少しでも盛り上げていきたいということでヴァンラーレ八戸のプライフーズスタジアムで健康測定会ということで、皆さんがキッチンカーなどお店を出している中、血管年齢を測定したり、野菜

量のベジチェックをさせていただいたりで実践しています。繰り返し繰り返しやっています。例えば、前は血管年齢45だったけれど今回は楽しみにしてきたという方もいらっしゃるなど、少しでも健康を維持する場になればと思っています。

ヴァンラーレ八戸との共同取り組みということで海外で活躍した、オランダでも活躍したことがある小野伸二選手と子どもたちのサッカー教室で、実践技術を学びながらサッカーをすることで心身を鍛えて、少しでも勉強する時間を設けるサッカー教室開催。

下平社長、細越会長のご発案ですが、通常は水曜日の夜か土日しかJリーグは試合をさせないとなっていますが、子どもたちもサッカーの試合を見せたいということで金曜日の昼にバスの予算を取ってサッカー観戦を兼ねてスタジアムに来ていただくという取り組みの一環として各企業にもご協力をいただいて、いわゆる社会科見学をすることにも取り組んでいます。弊社のブースもQOL健診の一部とゴルフの応援もしていますので、スナックゴルフ体験をしています。また、紺野先生と一緒にスタジアムで献血活動をしたり。これについては夏川戸齊さんにもご協力をいただきながら、献血バスに人を集めていただいたりしているところです。健康チェックイベントはどの企業さんでもやっていますので、何か催事などがあればお申し付けいただければと思います。

地元応援アスリートということで、どうしても中学生、高校生だと海外の遠征費用がひじょうにかかりますので、そういった地元の小学生、中学生、高校生が対象ですが応募があれば。ちょうど1年更新なので2月に更新を迎えます。今回は根城中学校の工藤夏姫さん、下長中学校の小山田遼雅くんを応援しているところです。次年度に向けてこういったスポーツで、例えばホッケーなどで、どなたか世界で活躍されるお子さんがいればおっしゃっていただければと思います。子どもたちにSDGsを教えるレポートゲーム、マンネリ化しがちな公民館での睡眠について

の健康相談など、道の駅での清掃活動ボランティア、介護施設で塗り絵を配りながら認知症予防の取り組みなど。

わたしは弟を膵臓がんで亡くした経験があります。その時にたまたま商品をつくる係にいたので、どんな商品を作ったらいいかということを経験を元に2つ商品化したものがあります。こういうことも職業奉仕といえるかどうかわかりませんが、原体験で社会になんとか還元できればと考えています。

女性のがん特約というところで、女性のがん検診は日本の受診率は3%、欧米は90%弱なので、何とか受けてもらえるようにしたい。女性がんは何かホルモン療法で生理を止める関係で5~10年長期化するので、なかなか決心がつかない。例えばがん検診で異常がなければ2万円、がん診断後通院治療は無制限で月5万円の治療を支えるなど。わたしの弟のようにステージ4で見つかるのと緩和ケアしかありませんので、海外の薬物を使いたいと言ってもなかなか使うのに費用のハードルがあったりする。欧米で認可されていても日本では未承認薬については1億円まで補償できるなどを特約でやったところです。

八戸ロータリークラブに入会させていただいて、小菊荘やかると大会など社会奉仕、職業奉仕はどういうことなのかと教えていただいているところもあります。一般的に困っている方がどこにいらっしゃるのか、またどういふ子どもたちを育成したらいいのかのヒントをいただいたり、全員の方が全力で挑戦して社会に奉仕している姿を見て、わたしももっともっと何か取り組めることがあるのではと日々勉強させていただいています。



## (2)「私の職業奉仕」農業と福祉の連携

### 鶴飼寿栄会員



わたしの職業分類は自動車販売業です。その傍ら社会福祉法人障害者施設の運営も同時に行っています。この話はどちらかという社会奉仕に近いのかなと思っていますが、きょうは農業と福祉の話をしていただきます。

障害者就労支援施設ということで社会復帰を目指すということです。これには自立ということで就職がついて回ります。障害をもった方々が職場に就職することを訓練として行っています。身体ではなく主に精神のほうが多く、ほとんどが知的障害者です。様々な精神障害者がたくさん利用しています。小菊荘の夏祭りは社会奉仕が主催して皆さんにお世話になっています。そこは児童の部分ですが、今回は成人の仕事の内容です。

農業についてあまり考えていなかったのですが、国の制度で農福連携事業というのがあります。県内でこれに取り掛かる事業所が無いから何とかやってくれないかということで、農業の分野に参入しました。皆さんも農業のことはご存じだと思いますが、日本の農業はどんどん衰退して後継者がいないという状況で、国の食糧需給率は世界の中でも38%と随分低い自給率です。そういった危機感もあり、今農業者が抱えている問題、いわゆる労働者を障害者の方になってもらえないかということだったわけです。当然農業のことは何もわからなかったわけですが、とっかかりとして、さまざま野菜の栽培などをやりながら失敗の連続でこれはとてもじゃないけれどできないと思っていました。

しかし、やっているうちに自然に馴染んでくる。精神が安定してくる効果がみられてくるわけです。人を嫌う対人恐怖症。せっかく就職したにも関わらず、職場で人に馴染めない。会社を辞めてひきこもることが結構多いわけです。そういった方々に施設を利用してもらってきた。そうするとやはり考える力はあるわけですから、自分なりに農業や農産物



の栽培を考えるようになってきて、失敗の傍ら、何とか栽培に自信が持てるようになってきたということです。

国の進めている農福というのは、実は農家に障害者施設から現場に派遣して作業していただくということです。それでその受付窓口、ワンストップサービスをやってくれないかということで、農家と当方の施設と他の施設とタイアップして、農家さんの要望に応じた内容を把握して障害をもった施設利用者を現場に派遣して働いてもらうということが目的です。そのことで農業労働者として最終的に雇用してもらえれば一番いいわけですが、まだ今はそこまでは行っていません。ただ赤澤さんには長い間、赤澤農園で常に5、6人が現場に行って仕事をさせていただいているということです。その作業の内容にもよりますが、その障害の特性で健常者よりもすばらしい仕事ができるというのが多々見受けられます。

そういったことの発見から労働者を依頼する農家さんに派遣していく。そしてまた同業者である福祉施設にも声がけをして共同でその仕事に当たる。こんなことが徐々に今までやってきて、やっとここにきてその形が見えてきました。やはりどこの企業でも労働者人口は減っています、かつては表に出ない精神的な障害はいっぱいあったわけです。

時間の関係でこの続きは別の機会にして、農業と福祉を両立できるような社会を作り上げていきたいということをお伝えしていきたいと思います。

司会：例会後、理事役員会を行います。

出席報告					出席委員会				
第3382回例会（1月14日）			第3380回例会（12月24日）						
出席率		100%	出席率		100%	修正出席率 %			
総会員数		名	出席数		名	総会員数	名	メイクアップした人数	名
出席義務会員	出席免除会員	欠席数	出席義務会員	出席免除会員	欠席数	名			
名	名	名	名	名	名	名			

出席報告					出席委員会					
第3383回例会（1月21日）			第3381回例会（1月7日）							
出席率		58.5%	出席率		61.2%	修正出席率	64.2%			
総会員数		68名	出席数		38名	総会員数		68名	メイクアップした人数	2名
出席義務会員	出席免除会員	欠席数	出席義務会員	出席免除会員	欠席数	名				
65名	3名	27名	67名	1名	24名	名				